



# 野生動物管理の

# ジャパンモデルを考える

平成 27 年 **5 月 29 日 (金)**  
**13:00 ~ 16:30**

会場：国立科学博物館 上野本館 2F 講堂

要申込・定員 150 名 (参加費無料)



## 開催趣旨

昨年改正された「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」は 5 月 29 日に施行の日を迎えます。

甚大な被害を及ぼしているシカ・イノシシの捕獲を推進するための新しい制度（指定鳥獣捕獲等事業・認定鳥獣捕獲等事業）も導入されることとなりました。一般狩猟者が激減している中で、将来的には各行政に専門職員を配置し、利害関係者と協働することで、モニタリング・計画・施策・評価が各地域において主体的に管理活動が実行される体制を整備することが必要となってきます。

この年を転換点とし、日本の野生動物管理システムを構築していくために、被害・対策・捕獲・利用・人材育成等の現状を整理し、今後必要となる野生動物管理の課題について議論します。

## プログラム

### 1. 開会挨拶

### 2. 話題提供

- ①野生動物全国協議会の活動（梶 光一 東京農工大学）
- ②改正鳥獣法の概要と今後の展望（環境省 自然環境局 野生生物課 鳥獣保護業務室）
- ③野生鳥獣による農業被害対策の現状と課題（農林水産省 生産局 農業環境対策課 鳥獣災害対策室）
- ④鳥獣による森林被害対策の現状と課題（林野庁 森林整備部 研究指導課 森林保護対策室）
- ⑤理想的な捕獲体制とは？（鈴木 正嗣 岐阜大学）
- ⑥持続的な資源化への課題？（横山 真弓 兵庫県立大学）
- ⑦鳥獣管理の人材育成の課題とシカ捕獲認証の導入（伊吾田 宏正 酪農学園大学）

### 3. パネルディスカッション

●申込方法：氏名・所属・連絡先を (sympo@j-wma.com) に送信ください。折り返し受付番号をお伝えします。

問い合わせ先：野生動物管理全国協議会 事務局（株式会社一成 担当：大山・関 079-428-0682 079-428-2427）

個人情報、申込者への返信、参加者名簿の作成、お問い合わせに対する回答や確認等、本シンポジウムを実施するために必要な場合に限って利用します。